

ニュースがとどくまで

ニュースがとどくまで

わたしたちは、テレビのニュースで、世の中の出来事を知ることができます。ニュースは、どのようにして作られているのでしょうか。

まず、放送局では、たくさんの方の情報の中から、何をニュースとして伝えるかを話し合っていて決めます。そして、記者やカメラマンが、事件や出来事が起きた現場に出かけて取材をします。取材では、出来事を見た人に話を聞いたり、写真や映像をとったりします。

取材から帰ると、記者は、ニュースの原稿を書きます。デスクとよばれる責任者は、その原稿に、まちがいがいないかを、何度も確かめます。まちがった情報を伝えると、多くの人をこまらせてしまうからです。

取材した映像も、短い時間で分かりやすく伝えるように、編集されます。こうして、ようやくニュースが放送されるのです。

わたしたちも、ニュースを見るときには、その情報が正しいかどうかを考えながら受け取ることが大切です。一つの出来事でも、新聞やインターネットなど、いろいろなメディアをくらべてみると、よりくわしく知ることができます。

1 記者やカメラマンが、現場に出かけてすることは何ですか。

ア 取材

イ 編集

ウ 放送

2 原稿に、まちがいがいないかを確かめる責任者を、何とよびますか。

3 デスクが、原稿を何度も確かめるのはどうしてですか。

4 筆者は、ニュースを見る人に、どんなことが大切だと言っていますか。
